



## ネットワークの輪を広げ、活性化を推進しよう

北海道ふるさと連合会

会長 伊野達哉

各ふるさと会の会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

北国では収穫の秋も一段落し、めつきり朝夕の寒さを感じている頃と思います。

今年の日本列島は異常気象で、春から寒暖の差が激しく、夏は猛暑と9月に入っても、留まるところを知らず、熱風につつまれました。

農作物に影響し、秋の味覚の王様と言われているサンマ、秋サケ等の漁獲も不振で、原因は海水温が高すぎ、北海道東部の港では影響が大きく、ひとたび自然が猛威を振るうと人間は無力となり、為す術を知りません。私たちはそのことを忘れてしまったような気がし、私はそう思えてなりません。

会長就任以来1年半を振り返って、さて、私が「北海道ふるさと会連合会」の会長の任に預かって1年半の経過をここで振り返ってみたいと思います。

当連合会は、総務部会、産直部会、事業部会、広報部会の4部会に事務局が加わり運営。私は「事業の活性化、財政の健全化、明朗会計」の3点を目標に掲げてスタートしました。最優先課題は「事業の活性化」の部分にあると考えました。そのためには、連合会の交流の輪をより広げていくことが必要である。目標は100団体、現在93団体が加入、今年度からは「弟子屈ふるさと会」および「東京斜里会」が加入、又協賛企業として「北海道新聞社」が加入、総計93団体となり、一歩一歩目標に近づきつつあります。これも各「ふるさと会」のご協力とご支援のおかげであると感謝しております。

ここで各会に「未加入在京ふるさと会」の連合会入会の運動推進のご協力をいただきたい。これはお願いでございます。又、「加入ふるさと会」であっても本年度の連合会の活動に一度も参加していない「ふるさと会」があります。どうすればご理解とご協力が得られ

るか、そのテーマに関しての意見交換会を行いたいと考えております。

### ★北海道知事を迎えるの新年交礼会

「事業活性化」の第一歩は、新年の交流にあります。賀詞交換会も兼ねた恒例の「新年交礼会」は、2010年1月16日（土）、明治記念館にて開催、来賓をはじめ各ふるさと会、協賛企業の加入団体合わせて170名を超える皆さんのご出席で会場は人の波に溢れました。今年も高橋はるみ北海道知事がご来賓、ご挨拶を頂きました。高橋知事は全てのテーブルに足を運び、会員を激励、写真を伴にしたり、懇談を深め、交流の輪を広げておりました。

又、来賓を代表してサッポロビール・ホールディング(株)の村上隆男社長がご挨拶、力強い言葉を戴き、拍手喝采となりました。「大抽選会」他我がふるさと自慢の「秋サケ」のおみやげに歓声が上がリ、盛りだくさんの企画で盛會裏に終了。多謝いたします。

### ★順調な運営を確認できた第33回定期総会

4月17日（土）には、竹橋の日本教育会館で、第33回定期総会・懇親会を開催、事業報告並びに平成21年度の収支決算報告に関しても順調に運営がなされたことが確認でき、穏やかな雰囲気の中での総会となり、平成22年度の事業計画案についても、前向きに取り組むことを約して閉会。

### ★「北海道産直フェア」は最大イベント

当ふるさと会連合会の最大のイベントは「北海道産直フェア」で第16回目となり、今年は10月1日から3日までの3日間、代々木公園で開催、ふるさと会と食の専門店の皆さんに参加を戴き、活気あるフェアとする事で、昨年を上回る25万人以上の来場者を期待。回数と実績を重ねて人気があっても、驕（おごる）ことなく、丁寧にお客様に対し、心を新たにしていきたいでしょう。



最後になりますが、連合会はご承知のとおり、郷土北海道の発展に寄与することに目的があります。そのためにも、会員間のコミュニケーションをより密接にして、私たちの心をひとつに纏め「みんなの連合会」にして行きたいと願っております。

私も微力ながら、頑張る所存でおりますので、会員の皆様のお力添えをいただきたく宜しくお願いいたします。